

相次ぐ炭鉱の閉山で、クラスは転校していく生徒ばかりであった。松浦市の人口も半分に減っていた。過疎という嫌な言葉が誕生した。「昨日いた奴が今日はいない、今日いた奴が明日はいない」。松浦駅は別離の駅であった。わたしは大人の理不尽さを知った。去っていく同級生は北海道や北朝鮮のよさを語った。いま、どうしているのだろうか。生きていれば70歳であ

る。

30年ほど前のこと、名古屋に集団就職をした同級生が、繁華街・栄でスナックをしていると、松浦市役所に勤めていた吉本務さんから聞いた。名古屋で劇団の公演があったついでに訪

# 反核訴えたゴジラ

会にも参加するようになった。だが、ぱったりと音信が途絶えたので、数年後また訪ねてみた。スナックは閉店していた。あの同級生も韋駄天走りの人生なのかもしれない。今年もクラス会

はあ。礎での核実験によって起きた第五福竜丸事件をきっかけに製作されている。身長50歳の怪物ゴジラは人間にとつての恐怖の対象であると同時に「核の落とし子」「人間が生み出した恐怖の象徴」として描かれ

劇などを破壊した。有楽町では山手線を破壊した。いま、ゴジラの像はゴジラが破壊したはずの有楽町にある。ラストシーンで、志村喬が演じる山根博士のつぶやきが「ゴジラ」のテーマである。「あのゴジラが最後の1匹だとは思えない。もし水爆実験が続けて行われるとしたら、あのゴジラの種類がまた世界のどこかへ現れるかもしれない」。あの時代、「力山」と「ゴジラ」は時代の寵児であった。2人とも足は短かった。また、うたごえ運動が盛んとなり「原爆許すまじ」が歌われた。

ねてみた。また客はいなかった。カウンターの奥の同級生はキャベツを刻んでいた。同級生には面影があった。かつての野球仲間であった。「覚えとるや」といったら、下を向いてポロポロと涙を流した。

昭和29年11月3日、怪獣映画「ゴジラ」が封切られた。ゴジラは同年3月1日にビキニ環事堂、松坂屋、服部時計店、日

た。ゴジラは東京都心に現れ、口から放射能を吹いて、国会議

（松浦市出身）



おかべ・こうだい 1979年に「肥前松浦兄妹心中」で岸田戯曲賞を、89年に「亜也子」で紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。日本劇作家協会元理事。松浦市で毎年、子供たちにミュージカルを指導している。川崎市在住。70歳。